

金沢大学附属病院神経科精神科を退院した患者に対して服薬指導を実施した薬局薬剤師へ

精神疾患患者における退院時服薬指導書の有用性に関する研究について

医薬分業の進展に伴い、患者の療養環境が入院治療から外来治療へシフトする際に、切れ目なく、患者ごとに最適な薬物治療を継続するためには、病院・薬局間での患者情報の共有化は重要です。厚生労働省より入院中心の医療から地域生活中心の医療への転換を目指す方針が打ち出されている中で、精神科神経科病棟では、2016年度より退院時服薬指導を積極的に実施しています。

今回、退院時服薬指導時に作成している退院時服薬指導書の有用性を評価するために、2016年3月以降に精神科神経科病棟を退院した患者に対する薬局薬剤師の服薬指導の実態を調べる研究を予定しております。

この研究では薬局薬剤師との電話による情報共有の中で得られた意見を使います。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、金沢大学附属病院長の承認を得て行っているものです。

2016年3月以降に当院神経科精神科を退院した患者に対する服薬指導を実施した薬局薬剤師で、この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、そのことをお申し出ください。その場合、あなたのデータは使いませんし、またこれからの業務に差し支えることは全くありません。また、ご自分がこの研究の対象になっているかお知りになりたい方についても、お調べしお答えいたします。

1. 今回の研究について

研究課題名：精神疾患患者における退院時服薬指導書の有用性に関する実態調査

この研究では精神疾患患者において、電話アンケートのデータを元に、退院時服薬指導書の有用性を調べることを目的としています。

2. 研究の方法について

この研究では、2016年3月以降に当院神経科精神科病棟で退院時服薬指導を受けた患者について、外来初診後に服薬指導を行った薬局薬剤師に対して実施した情報共有の中で得られた意見を使います。そのときに薬剤師のお名前などの個人情報削除します。この後、必要なデータをまとめ、精神疾患患者に対する退院時服薬指導の有用性についての研究を行います。集めたデータは学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報が公表されることはありません。

この研究の期間は、承認日から2021年3月31日までです。

3. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても薬局薬剤師に直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性は0ではありませんが、そういうことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

例：診療時のデータを利用する場合の掲示文書（2015.8ver.）

4. プライバシーの保護について

この研究では、薬局薬剤師の名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報が漏れないように、この一覧表は、データとは別に扱います。

また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、あなたの個人情報などが公表されることは一切ありません。

5. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用の負担はありません。

6. 研究への不参加の自由について

もし、この研究への参加をお断りになっても、あなたの今後の業務に差し支えることは一切ありません。不参加を希望される場合には、お手数ですが下記の研究責任者、研究分担者、もしくは担当医にお知らせください。研究への不参加を希望される場合は随時下記 研究の窓口までお知らせください。

7. 個人情報の開示について

金沢大学における個人情報の開示の手続については、次のホームページを参照してください。

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_syomu/kojin-jyouho/

8. 研究計画書など資料の入手について

この研究の研究計画書などの資料が欲しい、またはごらんになりたい場合は、研究に関する窓口にお問い合わせくだされば、対応いたします。

9. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたいときには、遠慮せずにいつでもお尋ねください。

研究機関の名称：金沢大学附属病院

研究責任者：崔 吉道（金沢大学附属病院 薬剤部）

問合せ窓口：嶋田 努（金沢大学附属病院 薬剤部）

電話：076-265-2047